

(26)

⑨ 日本国特許庁

⑤ 日本分類

80 A 02  
94 A 7

⑦ 公開実用新案公報

⑩ 実開昭47-814

庁内整理番号 6477-36  
6824-54

④ 公開 昭47(1972). 8. 8

審査請求 有

④ 電動患者運搬車

① 実 願 昭46-1639

② 出 願 昭46(1971)1月21日

③ 考 案 者 飯田孝平

立川市砂川町703西けやき台団  
地3-204

⑦ 出 願 人 武蔵野赤十字病院

武蔵野市境南町1の26の1

同 富士自動車株式会社

東大和市大字芋窪142の1

代 理 人 弁理士 小橋一男

実用新案登録請求の範囲

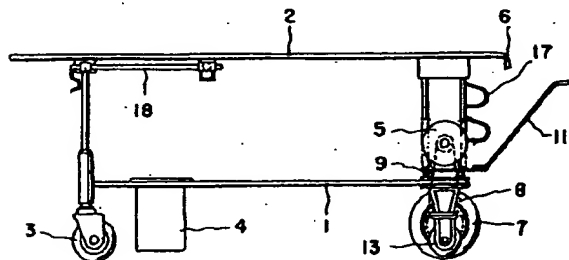
フレーム1上にベッド2を載設し、ベッド2の側面に回動及び伸縮自在な点滴器取付装置18を附設するとともに、フレーム1の前端にキャスター前輪3を設け、後端中央に方向転換自在なハンドル11付の後輪7と、該後輪7の両側にわずか

に床面より離れている補助輪13とを設け、前記後輪7上のフレーム1には後輪駆動用のモーター5を載設し、該モーター5と後輪7との伝動系路中にクラッチ12を介設して動力の断続を自由とし、更にフレーム1の後端には酸素ポンペ等の固定支持枠17を取付けてなる電動患者運搬車。

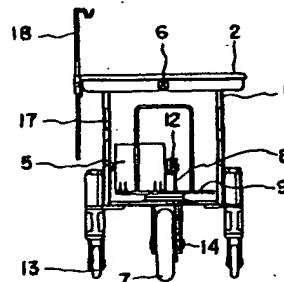
図面の簡単な説明

図面は本考案の1例を示すもので、第1図～第3図はそれぞれ患者運搬車の側面図、背面図、平面図を示し、第4図は運搬車の動力用制御回路図である。図中1はフレーム、2はベッド、3はキャスター前輪、4はバッテリー、5はモーター、6はスピードコントローラーSC、7は後輪、8はチェーン又はベルト、9は動力ユニット本体、10はスラストベアリング、11はハンドル、12はクラッチMC、13は補助輪、14はシャフト、15はストップスイッチSS、16はリレー、17は酸素ポンペ支持枠、18は点滴器取付装置をそれぞれ示すものである。

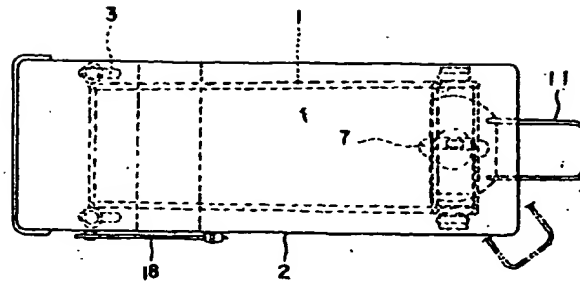
第1図



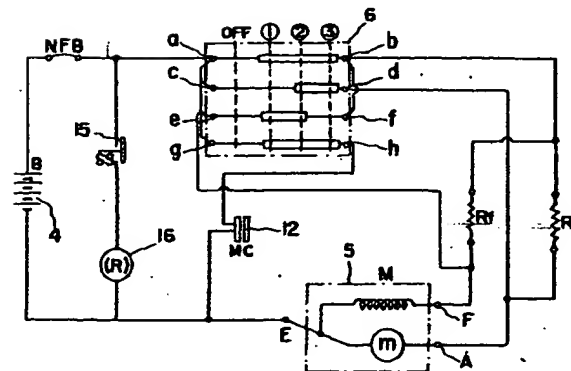
第2図



第3図



第4図



(27)

③日本分類  
94 A 71

⑬日本国特許庁

⑩公開実用新案公報

⑪実開昭47-17495

庁内整理番号 6824-54

⑫公開 昭47(1972)-10-28

審査請求 無

⑭電動式ストレッチャー

①実 願 昭46-21993

②出 願 昭46(1971)3月26日

③考 案 者 根本正男

東京都文京区本郷3の30の4

④出 願 人 瑞穂医科工業株式会社

東京都文京区本郷3の29の10

代 理 人 弁理士 千ヶ崎宣男

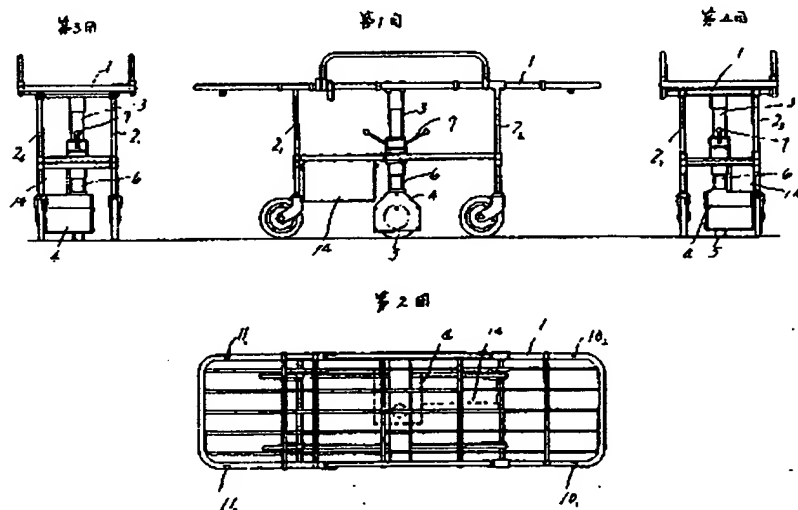
実用新案登録請求の範囲

患者を載せる台枠下面に移動用車輪付の4本の支柱を有するストレッチャーにおいて、台枠下面の中央に垂直軸管を取付け、該垂直軸管には電動駆動車輪の保持箱の支柱管を嵌合させ、該支柱管にはハンドルを取付けて、電動駆動車輪の進行方向を前後方向と横方向に9°回転できるようにな

すと共に、その9°回転した位置に固定できるように、支柱管と垂直軸管間にはストッパを設けかつ台枠の前後の両側縁部には車輪駆動電動機の正転及び逆転用スイッチを配設してなる電動式ストレッチャー。

図面の簡単な説明

第1図は本考案による電動式ストレッチャーの側面図、第2図は平面図、第3図は第1図の左側面図、第4図は右側面図、第5図は電動機駆動車輪部の詳細図、第6図は駆動電動機の電気回路図を示す。図中1はストレッチャーの台枠、4は台枠の中央下面部に取付けられた電動機駆動車輪部の保持箱、7は電動駆動車輪の進行方向を前後方向と左右の横方向に変更させるハンドル、9は電動クラッチ、10<sub>1</sub>、10<sub>2</sub>、11<sub>1</sub>、11<sub>2</sub>は台枠の両側縁部に配設されて、電動機を正又は逆に回転させる押ボタンスイッチである。



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**